

## 「抜け道を許さない、日本一の条例を作ります」 宣言の山梨県条例を見本に！

### 太陽光発電の設備及び維持 管理等に関する条例制定に ついて

再生可能エネルギー事業と、地域との共生状態をつくるために、効力ある町条例の制定について所見を問う。

**(町長)** 太陽光発電設備をめぐる苦情や住民等への被害が出ており、県では、林地開発許可制度実施要項を令和4年3月1日に一部改正し、規制を強化している。本町でも条例の制定に向けて議会に説明し進めている。一方で、事業者等の設置に伴い、固定資産税も発生し、行政運営には欠かせない財源の一つとして、税収の確保にも繋がってくる。住民の安全を重点に置きつつ、国が進めている再生可能エネルギーの促進にも寄与していく必要があるので、共生を図るため、条例の制定を進めていく。

問題が全国で起きてきたのは、アクセルが強過ぎて今までの国や県のブレーキでは効かなかったからで、市町村は自分たちで守ろうと市町村条例をつくり始めている。でもブレーキの効きが強くないと意味がない。見本となるのが、山梨県条例である。太陽光発電設置に積極的であるとともに、抜け道を許さないと3つのポイントで規制している。

**(町長)** 山林伐採しての土地では

土砂の流出等あって今後は厳しい。ただ設置済先を届出させるのは、法的には恐らく無理だろうと弁護士の見解もある。それに10キロワット未満でも全て対象にする点も南関町の状況で検討していく。

### 旧石井家住宅 保存活用について

国指定でなく登録有形文化財であり、将来にかかる維持・管理費の負担が懸念される。町の財政負担を考慮した今後の進め方について所見を問う。

**(町長)** 維持管理費の財源確保は容易ではない、ただ北原白秋の文学的素養を育んだ地を持続可能な資産として残すには、当時の佇まいを感じ、姿を目にしてもらうことは重要である。姿にこだわり過ぎると負の遺産化する危惧もあるので、保存活用検討委員会で整備後の維持管理費も考慮し慎重に議論していただきたい。

管理費をかけない方法として、門は閉じて物見台と説明看板で外から建物と庭をみってもらう。石井了介作品などは役場の一室に記念館を作るなどのアイデアもある。委員会では経費を掛けない議論はしているのか。

**(副町長)** 大変興味のある意見である。財源を節約して後年必要である維持管理経費等にも回す議論もしていく。



議会運営委員長  
文教厚生常任委員

## 中村正雄

### 南関町地域未来構想の実現 化について

方向が散漫化し町民の理解及び一体感が低いのに危惧する。実現化するための先導事業と推進体制の取り組みが見えてこない、今後の進め方について所見を問う。

**(町長)** 地域の活性化を図るために住民が自主的に行うまちづくり活動を応援する事業として、住民提案型事業を募集し、8事業を採択して進めている。

地域未来構想と8事業の繋がりが薄いと思う。まとめの深堀と政策作りがされてなく方向が見えにくい。今からでも政策コンテスト的にもものを実施する考えはないか。

**(町長)** 町民の皆さんからの提案を生かそうと、初めてやった町の事業であり、まちづくりを一緒にやろうとの気持ちを持ってもらうことに意義がある。





文教厚生常任委員

## 井下忠俊

### 『猫の対応について』

最近、猫に対する相談を多く耳にするが、町には上がってはいないか。

**(税務住民課長)** 小屋に野良猫が住み着いている、畑に糞尿をする等が挙げられている。

私には、その他に死んでしまっている子猫（命の問題）等も聞かされている。鳥獣害と違いこれらのように小さな被害の通報では、行政は動かないのか。

**(税務住民課長)** 鳥獣害についての捕獲は認められているが、猫は「動物の愛護及び管理に関する法律」により取り扱いされており、愛護動物として相談の対応について難しい部分でもあり苦慮しているところではある。

猫は一年間に三回出産し、その一回につき平均5匹程生まれ、一匹の猫から、子猫、孫猫、ひ孫猫と、その数は驚くほどになる。そんな中、生涯を全う出来ずに死んでいく猫も数多くいると思うが、町としての対応策はあるのか。

**(税務住民課長)** TNR事業ともいわれているが、野良猫の繁殖防止策として、さくら猫不妊手術事業に登録している。

その前に、猫よけ対策のアドバイス、又はグッズの貸し出し等についても、常日頃から広報に努め、相談があった場合には具体的に分かりやすく説明できる体制を整えてほしい。さくら猫事業についてだが、T（罠を仕掛ける）N（不妊手術）R（元の場所に戻す）の認識で良いか。

**(税務住民課長)** そのとおりで、動物基金協会により運営されている。



さくら猫の考えには大いに賛同できるところであり、いち早く南関町がそこに同意したという事は、大いに評価できる。そこで不妊手術を行う場合、まず捕獲することからだと思うが、それは可能か。

**(税務住民課長)** 一時保護という事で対応している。

飼い猫と野良猫の区別についてだが、家猫として、しっかり飼われているところも多い。この際、犬と同じように首輪など付け登録制にしたらどうか。

**(税務住民課長)** 犬猫の販売業者には、マイクロチップの装着が義務化されているので、その動向を注視していきたい。

一時保護から不妊手術までの間、一時預かりが出来る場所についてはあまり聞かないが、無いのであれば、例えば古い空き家等に囲いを設け、そこから手術を受けさせ、その後開放するというのはいかがでしょうか。

**(税務住民課長)** 一時預かりについては、今後検討をしていく必要があると考える。

さくら猫事業に個人で取り組んでおられる方もおられる。その人達の要望等は聞かれていると思うが、捕獲時においては、捕獲機・キャリーケース・タオル・更には餌代等5,000～15,000円程費用として掛かると聞いている。他にも必要な事も出てくる。今後はNPO法人などの考えも視野に入れて、町の協力もしっかり要望したい。

**(町長)** 御尽力いただいていることには町としても感謝しているところである。今後どのような支援が出来るのか、しっかりと検討しながら方向性を探していきたい。

### まとめ

今、全国では年間約8万匹の猫が殺処分されている。他にも何の罪もないのに、朝玄関先で生まれたばかりで死んでいることに心を痛めている方もおられる。猫の為に何が良いのか分からないが、せめて一代限りの命は全うさせてやりたいという思いから、この問題には引き続き取り組んでいってほしい。

『少子高齢化が深刻になっている。新たな取組みに立ち向かっていくことが重要である』



総務産業常任委員

境田敏高

国内の日本人の総人口は今年1月1日時点で1億2,322万3,561人である。前年より61万9,140人の減で、13年連続の減少である。

出生者数は81万2,036人で6年連続で過去最少を更新している。また、2021年の婚姻件数が50万1,116組と戦後最小を更新するなど、「結婚離れ」が進んでいる。

かつては男女とも9割超えが1度は経験する結婚であったが、近年は男性のほぼ4人に1人、女性の6人に1人が「生涯未婚」とされる時代を迎えている。

人口減少を漠然とした危機意識ではなく、わたしたちが暮らす地域でも身近な問題として、新たな取組みに立ち向かっていくことが重要である。

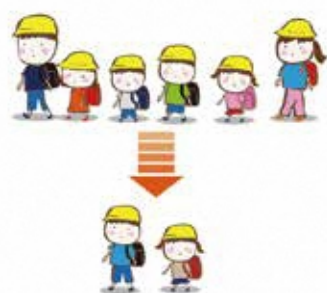
そこで南関町人口ビジョンの総人口、年齢3区分別人口、自然増減、転入・転出などの最新の人口の分析の推移と対策を尋ねる。

**(町長)** 総人口は平成27年9,786人、令和2年8,979人で平成27年から令和2年にかけて807人の減となっている。年齢3区分別人口は0歳から14歳までの年少人口は平成27年1,072人、令和2年952人で120人の減である。15歳から64歳までの生産年齢人口は、平成27年5,209人、令和2年4,492人で717人の減、65歳以上の老年人口は平成27年3,499人、令和2年3,535人

で36人の増である。

転入を転出が大きく上回る年齢層は、20歳から24歳までで転入67人に対して転出が162人となり95人の減である。

南関町に住みたいと思っていだけるような魅力あるまちづくりに努める。



外国人を除いた町人口は何人であるか。

**(町長)** 8月末現在、人口で9,045人、外国人が166人で、差引き8,879人である。

2020年の全国での小中学は956万人と10年で100万人近く減少しています。わが町も減少している。

教育長は小規模校のメリット生かし質の高い教育に努めておられるが、第2小では複式学級が来年度から行われるとのことであるが、人口ビジョンの推移をみると当然、対策を取り組まねばならない。現状と今後の取組などについて尋ねる。

**(教育長)** 出生数等も減っている。とても厳しい現状にあることを受け止めて子どもたちの教育環境を

しっかり考えていく時期に来ている。統廃合問題を含めたところをしっかりと検討していく。

安心して子育てをできるように子育て世代包括支援センターの整備、産休中の負担軽減、産後ケアの充実などがあるが、出産後の母子の心身をサポートする「産後ケア事業」をめぐり、施設不足が自治体の課題になっている。2021年度から事業の実施が市区町村の努力義務となっている。産後1年までの母子を対象である。わが町の現状はどのような取組みになっているのか。

**(町長)** 産後ケア事業は、南関町では実施していない。委託する委託先、機関がないというのが現状である。近隣の玉名市、荒尾市などを見ると、地域の産科、産婦人科に委託をして事業をされている。我が町では、委託先がないような状況であるので、それに代わる支援が必要と思っている。現在、子育ての相談、それから、乳幼児の健診、そういった機会をとりながら、また乳児の全戸訪問で家に出向いたときに、いろいろ相談に乗りながら、子育ての相談や、授乳の指導などをおこなっている。





文教厚生常任副委員長  
広報常任委員  
議会運営委員

## 福山美佳

### 生理用品設置の進捗状況について

令和4年第5回6月定例会の一般質問の中で、小中学生への生理用品設置について尋ねたところ、もう少し現状を見ながら対応していきたいとの回答があったため、その後の現状と今後の方向性について尋ねる。

**(教育長)** 6月定例会では、「現在、町の小・中学校のトイレには、生理用品の設置はせず、子どもたちには保健室にもらいに来るように、共通した対応をお願いしている。もう少しは現状の対応で見守っていきたい」旨の答弁をした。本件については、6月20日の定例教育委員会、6月24日の町の校長会議で本議会対応の状況を説明したところだが、この頃からコロナ感染が広がり、本件についてその後の現状にかわりはない。県内他市町の6月議会でも議論されている。そういう他市町の状況等も把握していく必要があると考えるので、もう少し長いスパンで見守りをしたい。



### 『生理用品設置の進捗状況について』 『町職員の女性管理職登用について』

教育委員会の考え方としては、他市町の状況、動きで、南関町の小中学校の女子トイレに生理用品を置か置かないかを判断するという事なのか尋ねる。

**(教育長)** それぞれの市町あたりで対応が若干違っている部分があるので、現状把握、検証しながら次の策を考えていきたい。現状のままで、今、やっているところ。

#### まとめ

せめて学校生活の中だけでも、子どもの羞恥心や不安な気持ちに寄り添ってほしい。子どもたちや保護者は、町に対して迅速な対応を期待している。検討している間に、子どもたちの学校生活は終わってしまう。



### 町職員の女性管理職登用について

町役場職員における職員数及び男女の比率並びに係長以上の男女の割合について伺う。

**(町長)** 4月1日現在、正職員110名で、男性が74名で67%、女性が36名で32.7%。

現在の女性管理職、課長級の割合についての見解、また今後の女性課長登用の目標値について尋ねる。

**(町長)** 性別に関係なくそれぞれが能力を発揮し、調和のとれた社会生活を形成していくためには、まちの現状として男性の割合が多い管理職に女性を登用することは非常に重要であると認識しており、住民サービスの充実を図るうえでも、管理職に限らず女性の視点を取り入れた行政運営がより一層必要になると考えている。

女性課長が現在1名ですがこの状況について、町長の考えを尋ねる。

**(町長)** 性別に関係なく、職員個人の能力、適性、経験をもとに組織全体として、職員の個人的な評価もあるが、現在、課長補佐が18名のうち8名と44.4%が女性です。現在、課長職は1名ですが、課長を目指して頑張る方もおそらくいると思うので、1名2名に限らず3名でも4名でも、なるべく多くの女性の方が、課長職に登用されるような、そういった環境ができればと思っている。

#### まとめ

南関町男女共同参画計画の民意意識調査の中に、男は仕事、女は家庭と無意識に役割分担された考え方が習慣的に存在し、受け継がれてきたと数字にもでている。そして、まだまだ南関町役場含め、社会的にも女性が活躍しづらい環境である。南関町役場が南関町の働き方の見本になってほしい。今後の人材不足と多様性に備えた、環境整備、人材育成、女性管理職の登用が積極的に行われる事を期待する。

## 『人口減少・・・ 今こそ新しい地域コミュニティ構築の時！』

住民提案型事業を手始めに「南関町地域未来構想」が動き出している。継続して町づくりの一端を担う団体・個人が生まれることが期待されるが、この構想は、目的達成時期が決まっていない。さらにコロナ禍の影響もあり、この2年間の出生数減少は顕著で、少子高齢化、人口減少、過疎化は加速している。だからこそ町民一人ひとりが元気でいきいきと輝ける地域コミュニティの再構築が急がれる。

### 子ども人口減少問題先進町

私が町に戻った35年前と比較して人口は30%減、小学生に至っては約60%減。地区行事の縮小や維持の困難、地域の歴史や伝統文化の継承も難しくなり、子ども達の地域への愛着も失われていく。

近所に一緒に遊ぶ子どもがいない。夏休みの学校プール非開放。各種団体の活動の衰退、活動の停止。結婚適齢期の女性の減少。未婚者の増加、後継者不足、消防団員の不足、バス路線の縮小と撤退等々。

町の対策は？

**(町長)** 空き家が増加傾向、農地等の荒廃、有害鳥獣による作物の被害などが各地で見受けられるし、地域活動の衰退が懸念されるが、それぞれに有効な手だてがないのが現状。

町が全てをできるわけではない。もちろん1人でも出来ない。行政が解決するもの、地域に任せられるものがある。それを考える場がない。



### 地域づくりや活性化を目的に活動されている団体

**(町長)** 久重北区及び前原・笛鹿のホタルを守る会、がまだす隊などの農業関係団体、地域婦人会、老人クラブ連合会などの団体、南関町金型金属加工企業連絡協議会やTMO なんかんのような産業・商店街の振興を図られる団体などが活動され町の活性化を図っている。

他に里山保全振興を主として活動するNPO法人いろね、スポーツ振興のA-life なんかん。一般社団法人のなんかん未来創造とつぱ隊等が活動されている。それぞれ問題意識を持って活動され多様な考え方をお持ちと思うが、その団体が意見交換をする場はあるか。

**(町長)** これらの皆様と一緒に集まる機会はない。地域未来構想の中で個人に限らず、法人組織が参加される機会は重要になってくると今、気づいた。



文教厚生常任委員長  
議会運営委員

## 北原浩一郎

### 南関町地域未来構想

**(町長)** 現在STEP 1の有志でやってみる段階。その後STEP 2の仲間を増やす段階、STEP 3の校区別活動の段階へとステップアップしていき、最終的にSTEP 4のまちづくり協議会等の組織立ち上げへとつないでいくことを考えている。

個としての町民、社会貢献活動団体に所属している町民、そして行政としての町民、この3者が会する場があれば、「3人寄れば文珠の知恵」の諺通り、そこに知恵が生まれエネルギーが回り、アクションが生まれる。

これが、物事が進むということ。今までは、何でも町に頼る、町に任せるっていうのが大方の考え方だった。持続可能な元気で輝く自分の地域は自分で守るという他人事からの脱却、自分ごと化への変革をするときが来ている。ステップを踏んででは遅い。

まずは準備委員会を作る必要がある。

# 生の声を聴く

## 南関町老人クラブ 連合会



福祉スポーツ大会での応援風景

### 議員 この組織が目指すものは何でしょうか？

県や郡の老人クラブ連合会の下部組織ですが、南関町の地域に7つある老人クラブの連合会になります。郡、県と縦のつながりをもって活動しています。「健康」「友愛」「奉仕」の精神で、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「社会奉仕活動」などを行い、誰もが役割を持ちながら、支え合いながら暮らし、生きがいを築いていく「地域共生社会」の実現を目指します。



会議の風景

### 議員 今の組織の課題がありましたら、教えてください。

現在老人クラブは南関町に7つあります。久重中、宮尾、西豊永、小原、東豊永、坂下東部、柿原で、現在の会員数は261人です。旧南関町では、0人という状況です。以前は40を超えるクラブ数で、昭和57年の会員数2200人をピークに減少が止まりません。

### 議員 なぜ、会員数が減少するのでしょうか？

人口減少時代となり、全国的な流れですが、趣味の多様化や高齢者でも働く時代となっており、高齢者の生活にゆとりがないように感じています。また、役員になることを負担に感じる人も多いようです。

### 議員 老人クラブって何？

#### ◆目的

- (1) 仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、
- (2) その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み
- (3) 明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。

#### ◆会員

入会を希望する高齢者で、概ね60歳以上の方を対象としています。

#### ◆組織

日常的に声をかけ合い、歩いて集まることのできる小地域の範囲で組織しています。

クラブの規模は、おおむね30名から100名を標準としています。

#### ◆運営

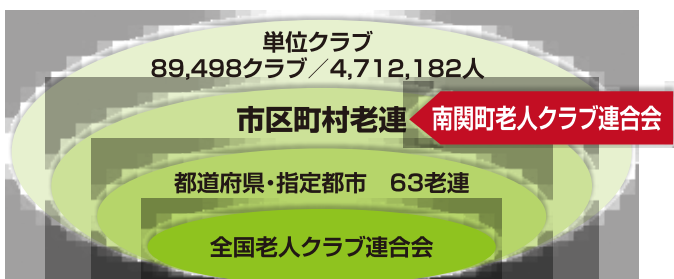
- 会員本意の自主的かつ民主的な運営をしています。
- クラブ活動の財源は、会員の会費によってまかなうことを基本とします。

#### ◆国・地方公共団体の支援

高齢者の生きがいや健康づくりの推進に向け、国、地方自治体から支援を受けています。

#### ◆連合会

小地域ごとの老人クラブ（単位クラブ）を核に、市区町村、都道府県・指定都市、全国の段階に老人クラブ連合会（老連）を組織しています。







ゆるっとデーでの日舞の風景

**議員** 年間に活動されている内容や行事を教えてください。

◆**連合会としての活動**

- 交流センターの協力員
- 資源回収
- ゆるっとデー（月1回の交流会）  
（文化協会の協力による発表会）
- グランドゴルフ（年1回）
- 高齢者交通安全講習会
- シルバーヘルパーの講習 / 指導員講習
- 世代間交流会（小学生との交流）など



◆**各クラブごとの活動**

- アルミ缶の回収
- 日帰りの温泉旅行
- 農道のごみ拾い
- 健康体操
- カーブミラーの拭き掃除 など



グランドゴルフ大会でのラジオ体操

**議員** 町などへの要望がありましたら、教えてください。

書類整理等、書類上の作業が特に大変です。役場や、社協など、少し手伝いをしてもらえると助かります。また、活動においても、更なる町の理解と協力があればやりやすいし、他町では、老人クラブ連合会にずいぶん協力的なところもあるので、南関町にもその辺も知ってもらいたい。



**南関町老人クラブ連合会のみなさん**

- 左から 久重中老人会の橋永芳政さん（副会長）  
柿原長寿会の平田幹夫さん  
東豊永豊寿会の松村由紀子さん  
宮尾小岱親和会の田代洋子さん  
小原老人親和会の永松修さん（会長）  
西豊永寿延会の武田長太さん（副会長）

**「生の声を聴く」を終えて・・・**

「健康」「友愛」「奉仕」の精神で、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「社会奉仕活動」などを行い、誰もが役割を持ちながら、支え合いながら暮らし、生きがいを築いていく「地域共生社会」の実現を目指すすばらしい取り組みだと思いました。

しかしながら、人口減少時代となり、全国的な流れもあり、クラブ数、会員数の減少で悩んでおられます。また、南関町の地域の老人クラブが7つで地域に偏りがあることに違和感を感じました。

新規会員獲得が上手くいかない理由として、新しい高齢者ニーズとのミスマッチや「老人」という言葉にネガティブなイメージがあるようにも感じました。

今後、高齢化がますます進む中で、老人クラブの存在は、地域コミュニティを維持する上で極めて重要なコミュニティであります。

元気高齢者が虚弱高齢者を支える、現役時代に得たノウハウや知識をコミュニティに還元するといったアプローチもそのひとつだと思います。また、60歳からの組織と言っても、60歳と80歳では親子ほどの世代差があるので、思い切って活動内容を世代別に分けてみることも必要かもしれません。

今後、老人クラブが地域コミュニティにおいて果たすべき役割は何か、再度社会的な合意形成を図っていくタイミングにあるのではないのでしょうか。

また、現在偏った地域の老人クラブであり、再度、南関町の全地域の老人クラブ連合会にするためには、どうしたらいいのかについて、町も積極的に係り、今後の老人クラブの在り方について、真剣に考える必要があると思います。

広報常任委員会

わた なべ はる と  
南関中3年 渡辺 陽 仁 さん



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

## 私が考える、南関町の未来

僕が考える南関町の未来は、今の南関町であり続けることです。それは、自然が豊かであることはもちろんのこと、町民の皆さんがとても優しく接して下さるからです。僕の登下校中に会う人全員が笑顔で挨拶をしてくださいます。また、学校で会う友だちもみんな優しく、毎日とても楽しいです。

そんな南関町にも課題はあると思います。例えば、少子高齢化です、年々小学校や中学校の入学者数は減少しています。だから、人が多く集まる南関町にするために、飲食店や娯楽施設を整備すると良いと思います。また、SNSなどを使って多くの人に住みやすい町であることを知ってもらい、関心を持ってもらうことが大切だと思います。

僕は南関町にとっても助けてもらっているのだから、これから積極的に地域の行事やボランティアに参加するなどしていきたいです。

## 議会傍聴しませんか

9月定例議会の傍聴人数はのべ15人でした。

5日：6人、6日：7人、12日：2人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員 30人

## 議会日誌

### ■7月

- 7月5日(火) 広報常任委員会
- 7月11日(月) 総務産業常任委員会
- 7月14日(木) 文教厚生常任委員会、  
広報常任委員会
- 7月21日(木) 全員協議会、議会運営委員会、  
広報常任委員会
- 7月25日(月) 第6回臨時議会、議会運営委員会

### ■8月

- 8月2日(火) 広報常任委員会
- 8月10日(水) 文教厚生常任委員会
- 8月17日(水) 総務産業常任委員会
- 8月18日(木) 全員協議会、議会運営委員会
- 8月23日(火) 議会運営委員会

### ■9月

- 9月5日(月) 第7回定例会、議会運営委員会
- 9月6日(火) 第7回定例会、  
総務産業常任委員会、  
文教厚生常任委員会、  
広報常任委員会、議会運営委員会
- 9月7日(水) 全員協議会
- 9月8日(木) 全員協議会
- 9月12日(月) 第7回定例会
- 9月21日(水) 総務産業常任委員会
- 9月22日(木) 広報常任委員会

## テーブルイク



### 季節を感じて

9月下旬に入り、黄金色の稲穂に赤や白の曼珠沙華咲き、すっかり秋影色を写し出していました。また、天高く澄みきった青空は暑い日が続く中にも、すがすがしさを感じ緑の活きづく南関に心がホッとする想いでした。



もうすぐ秋桜の時期を迎えます。季節の移り変わりを肌で感じ、ふるさとで暮らす幸せを充分にあじわいたいと思いました。(山口純子)

議会だより山郷 66号掲載の一般質問の文字数で1,300文字を超える議員がありました。公平性に欠けるとのご指摘を受けましたので、チェック体制を強化し、今後このような事が無いように致します。(広報常任委員会)

□発行責任者

議長 立山 秀喜

□編集(広報常任委員会)

委員長 伊藤 博長  
委員 山口 純子

副委員長 矢野 修一

委員 福山 美佳